

社協だより ⑦

願いがかないますように



七夕飾り (安永1町内元気サロン)

もくじ

- 令和3年度事業報告・決算…………… P 2
- シルバー人材センター…………… P 3
- 地域支え合いセンター…………… p 3
- 社協情報…………… P 4～P 5
 - ・ ひきこもり相談窓口
 - ・ もの忘れ相談室
 - ・ コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
 - ・ 認知症サポーター養成講座
 - ・ 心配ごと相談
 - ・ 親子講座
 - ・ 在宅介護者のつどい
 - ・ 赤十字運動について
- 地域サロン／地域を支えるふくしの輪…………… P 6

安永1町内元気サロン

6月は、七夕飾りをしました。今年は、山内区長と水上民生委員が笹と飾りを用意され、参加者みんなで願い事を書き、飾りつけをしました。コロナでサロンも中止になることありますが「サロンは楽しみにしている」「七夕のような季節の行事は家ではなかなかしないので、これはサロンならではのね」と楽しそうに笑いながら飾られていました。

また、地域サロンの参加者が増えるように皆さんがそれぞれ声かけをされているそうです。

令和3年度事業報告・決算

事業報告

令和3年度の当協議会では、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい生活様式」に努めながら住民に寄り添った支援を継続するとともに各関係機関、団体、行政等との連携を密にしながら再建に向けた事業に取り組んでまいりました。

地域支え合いセンター活動

仮設住宅等に残されている被災世帯に対しての寄り添った再建支援、お茶会等とおしたコミュニティづくり、見守り支援を実施してまいりました。

コロナ禍における経済環境悪化世帯への対応

生活困窮者自立支援事業、生活福祉資金貸付事業等についての具体的支援を行ってまいりました。

多様化・複合化した課題への対応

令和3年度から新たに設置されたコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を中心としたアウトリーチを通じた継続的支援に取り組み、重層的支援体制整備事業の目的の一つである横断的な支援体制づくりの実現に向け、行政や関係機関等との連携強化に努めることができました。

地域コミュニティづくり

新型コロナウイルス感染症拡大により

様々な事業を従来どおり実施することができませんでしたが、密を避け、新しい生活様式のもと、講座の開催や屋外での地域サロン、回数を分けての関係団体等との会議を行うことにより、地域で活躍できる場の提供や、地域見守り活動の把握及び情報の共有化を深めることができました。

シルバー人材センター

会員が長年培ってきた知識、技能、経験を活かして、住民や企業等の依頼に就業を通じて役割を発揮し、また、就業以外にも奉仕活動やリサイクル活動、レクリエーションに取り組み、会員の地域貢献や親睦につながりました。



地域支え合いセンター活動（傾聴ボランティア）



コミュニティソーシャルワーカー（社会福祉士連絡会）



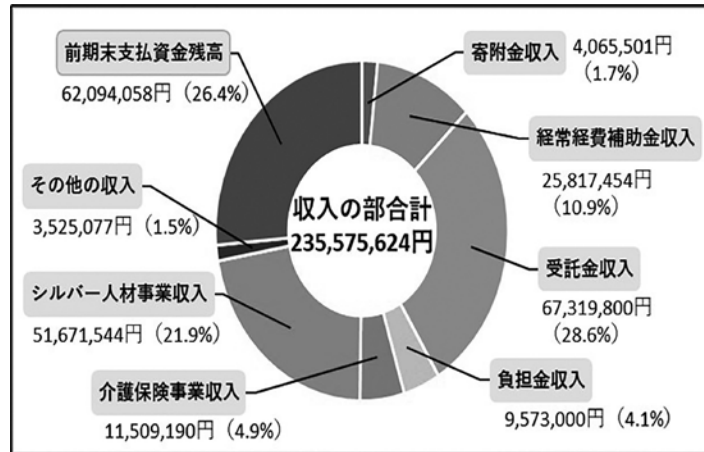
地域サロン活動（蛭子町）



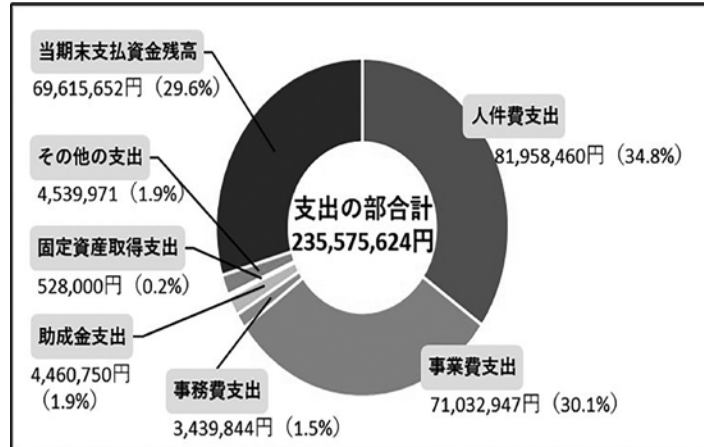
シルバー人材センター活動

決算

収入の部（単位：円）



支出の部（単位：円）



シルバー人材センター

会員紹介 くたスキ(会員の輪)

No.26



氏名 松本 秀晴
所属班 定期就業

会員登録のきっかけ

定年退職後、しばらく遊んで暮らしていましたが、遊ぶのにも飽きて時間が余って仕方がなくなりました。何か良い時間つぶしはないか探していたところ、ちょうど会員募集の情報を知り、登録しました。

活動を通して思うこと

登録当初は農作業をしていました。現在は、益城クリーンセンターで作業をします。楽な作業ではありませんが、休憩時間に現場の仲間と雑談したり、冗談を言い



マイブーム

雑誌が趣味です。益城町図書館をよく利用し、気になった本や雑誌はジャンルを問わず何でも読みます。

あとは、パチンコが趣味です。町内で打つと思わぬ知り合いに出くわすことがあるので、町から少し離れたところで打つようにしています。

これからやりたいこと

健康が一番です。これからも仲間とともに無理のない範囲で活動を続けていきたいです。

入会希望の方へ

現在、当センターでは、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。入会をご希望の方や活動について詳しく知りたい方は下記までご連絡ください。

問 シルバー人材センター
☎096-289-6092

地域支え合いセンター

令和4年度第一回お茶会

5月16日(月) 14時から木山仮設団地東集会所及び談話室で開催しました。当日まで天気が心配されましたが、雨も降らず過ごしやすい天候で開催できました。

木山仮設団地、みなし仮設住宅、木山校区の災害公営住宅(5団地)にお住まいの皆様へ案内し、多くの方が参加され久々の再開を喜ばれていました。仮設団地での思い出話、近況報告等、話は尽きませんでした。「楽しかった」「以前住んでいた仮設の部屋を見てきた」等の声も聞かれました。

今回も開催にあたりたくさんの方々にご協力いただきました。皆さんの参加、協力で楽しい1日になりました。



当日は、木山仮設団地で活動している団体の手芸品や野菜等の販売を行いました。



社

協

情

報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」「べつ困り」とはありませんか

「ひきこもり」は、誰にでも起こりえます。特別なことでも恥ずかしいことでもありません。悩みや苦しみを抱える前に「お悩み」や「気になっていること」など、あなたのタイミングで気軽にご相談ください。ご家族からの相談やお知り合いの方からの相談もお受けします。どのような制度があるかのお尋ねだけでも構いません。

相談は、随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

問 地域福祉課

☎096・214・5566

県ひきこもり地域支援センターゆるここ ☎096・386・1177でも相談可。

もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日 7月19日(火)

13時30分から 14時30分から

15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

※事前予約制です。

問 地域福祉課

☎096・214・5566

コミュニティソーシャルワーカー

(CSW)

CSWは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決に向けたお手伝いをしています。

ご相談は、高齢、障がい、子ども、生活困窮など分野の枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に対する相談や暮らしの中での困りごとは、CSWへご相談ください。

問 地域支え合いセンター

☎096・289・6090

認知症サポーター養成講座

認知症は、誰にでもなる可能性がある病気です。

認知症サポーターとは、「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族の『応援者』です。

認知症になっても安心して暮らせるために、皆さん一人ひとりができることから始めてみませんか？

日時 7月23日(土) 14時から15時30分

場所 復興まちづくりセンター「にじいろ」

(益城町宮園702)

その他詳細についてはお尋ねください。

問 地域福祉課

☎096・214・5566



受講者には、受講の証としてオレンジリングをお渡ししています。

心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。電話での相談も対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080・8427・8981

(開設時間のみ)

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 地域支え合いセンター

☎096・289・6092

日程	専門相談員	相談員	
7月6日(水)	松尾英美 (司法書士)	河原真二 (民生児童委員)	
7月13日(水)	松尾英美 (司法書士)	齊藤輝代 (人権擁護委員)	岸崎澄英 (民生児童委員)
7月20日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	堀内敦子 (人権擁護委員)	松岡マチ子 (民生児童委員)
7月27日(水)	橋場紀仁 (行政書士)	大塚慶子 (消費生活相談員)	森川恵美子 (民生児童委員)
8月3日(水)	松尾英美 (司法書士)	佐渡千代子 (民生児童委員)	

親子講座

大切な乳幼児期を親子で楽しく過ごす方法について一緒に学びませんか？

【募集内容】

日時 8月5日(金) 10時から11時30分

8月12日(金) 13時30分から15時

※8月5日(金)と12日(金)は同じ内容ですので、ご都合が良い日時を選んでください。

場所 復興まちづくりセンター「にじいろ」

(益城町宮園702)

内容 講話とスキンシップ法について

「親子のふれあいからはじまる育児
子どもたちの未来をみすえて」

講師 益城町子育て応援友の会

はっぴーエンジェル

代表 本田菜穂子 氏

募集人数 0歳～3歳までの親子ペア5組

※新型コロナウイルス感染症の状況により延期や中止となる場合があります。

問 地域福祉課

☎096・214・5566



在宅介護者のつどい

ご自宅で高齢者等の介護を行っているご家族を対象に、日頃の介護から少し離れ、介護に対する悩み等を通じて介護者同士で交流を深めることを目的に開催します。

今回は介護教室を計画し、ベッドや車いすの介助方法の実践、介護用品の展示、介護に対する相談会などを行います。

日時 7月19日(火) 10時から11時30分

場所 益城町保健福祉センター(はびねす)

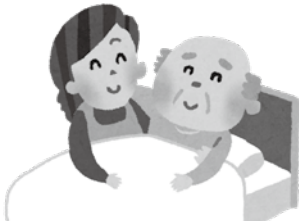
工作室(2階)

参加申込方法

お住まいの地域の民生委員児童委員が調査に伺いますので、その時に申し込みされるか当協議会までご連絡ください。参加には介護度などの諸条件があり、調査が行き届いていない場合もありますので、その際もご連絡ください。

問 在宅福祉課

☎096・214・5566



赤十字運動について

益城町分区の取り組み

先月号では、赤十字の歴史や日本赤十字社熊本県支部の活動を紹介しました。今回は、日本赤十字社益城町分区の活動や実績をご紹介します。

日本赤十字社は東京に本社があり、各都道府県に支部があります。そして、各市町村に地区・分区が配置されています。益城町では、町と社協で覚書を交わし、社協が日本赤十字社益城町分区として活動しています。

益城町分区の活動

・災害時の活動

火事や風水害等の災害時に現場確認を行い、必要に応じて救済物資をお渡ししています。救済物資には、毛布・タオルケット・ブルーシート等があり、熊本県支部から配備され備蓄しています。

・赤十字講習の調整

地域や団体のイベント、地域サロン等において救急法等の赤十字講習を実施する際の日程調整や講師派遣等を行っています。

・災害義援金の募集・受付

昨今、頻発している風水害等の災害時に募集される災害義援金の募集を行っています。

います。

・赤十字活動の広報

赤十字活動を社協だよりやホームページに掲載し、広報しています。

赤十字運動実績(令和3年度)

令和3年度は3,371,853円の会費(活動資金)が集まりました。これは全額、日本赤十字社熊本県支部に送金しています。このうち663,020円が交付金(赤十字活動を行う際の活動費)として振り込まれています。交付金の実績は左表に記載しています。

収入		
	種別	金額
1	前年度繰越金	506,611
2	事務費交付金	337,185
3	事業費交付金	325,835
	合計	1,169,631
支出		
	種別	金額
1	小地域活動配分金	324,635
2	車両維持管理	117,240
3	事務費	107,480
4	次年度繰越金	620,276
	合計	1,169,631

今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



～つながる地域・住みよいまち～
地域サロン

地域サロンでは、地域で生活している高齢者や住民が気軽に集まり、介護予防に取り組むことで、閉じこもりの防止や見守り、また仲間づくりや社会参加を目的として活動されています。

◇ 檜島サロン

場所：檜島公民館 日時：毎月第2木曜日 13時30分～



◇ 広崎4・5町内よつ葉会

場所：広崎4町内公民館 日時：毎月第4火曜日 10時～



◇ 馬水南 結いの会

場所：馬水南公民館 日時：毎月15日 10時～



◇ 下町 健康清正公会

場所：公民館きやま座 日時：毎月第2水曜日 10時～



地域を支えるふくしの輪

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。

地域サロン

地域サロンは、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、近所との繋がりや情報共有、防災や防犯など有事の際の対応方法などを話し合いながら、地域づくりや地域の課題の把握の場の一つとして活動することを目的としています。

現在、益城町では53地区（59行政区）で地域サロン活動を行っており、基本的には毎月1回、地域の公民館等を集まって、レクリエーションや体操、講話、季節のイベントや外出、屋外で活動され、仲間づくりや閉じこもりの防止など、参加者同士の見守りにも繋がっています。各地域サロンで開催日時は様々ですので、興味のある方は当協議会までご連絡ください。



写真は五楽しらゆり会サロン

2022
7 月号
 (No.292)

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則
 〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
 ※益城町保健福祉センター（はびねす）内
 TEL 096-214-5566 FAX 096-214-5567
 ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

